

## 第2回 高2トップレベル模試（07年10月）英語採点基準

### 配点表

大問		配点	小問数	小計	大問ごと
1	A	1	6	6	20
	B	2	3	6	
	C	2	4	8	
2	A	1	5	5	15
	B	2	5	10	
3	A	3	3	9	15
	B	3	2	6	
4	A	3	3	9	15
	B	2	3	6	
5	問1	2	2	4	12
	問2	2	2	4	
	問3	1	4	4	
6	問1, 2, 3, 4, 5	4	5	20	23
	問6	3	1	3	
合計				100	100

## 第1問

### A－1点×6

#### 【解答】

- (1) help me with                      (2) the matter                      (3) in my back  
(4) right over there                  (5) one next to                      (6) Be sure not

●スペルミスは0点。

### B－2点×3

#### 【解答】

- (1) longer [farther]    (\*long [far] は1点)  
(2) sea [Channel]  
(3) plane [airplane]

●スペルミスは0点。

### C－2点×4

#### 【解答例】

- (1) 恐れられ、嫌われていた  
(2) 安価な食糧  
(3) 非常に貴重なもの  
(4) ジャガイモのおいしさ

●字数制限（5～15字）を守らないものは0点。

●文脈に即した内容であれば、表現は広く認める。やや表現に難がある場合は－1点。

●(1)は「恐れられていた」，「嫌われていた」のどちらか一方でもよい。

## 第2問

### B－2点×5

#### 【解答】

- (1) it / rain [rain / fall]  
(2) her / being[getting]  
(3) it / hard[difficult] / to  
(4) All / is  
(5) less[fewer] / than

●各完答。

●スペルミスは0点。

### 第3問

#### A－3点×3

##### 【解答例】

- (1) the third time (that) I have ever seen it
- (2) have[get] it repaired as soon as possible[I can]
- (3) would[could] have been much easier for us

- 全体の意味や形を大きく損なっているものは0点。
- 動詞の時制ミスなど文法上の誤りは－2点。
- スペルミスは1つにつき－1点。

#### B－3点×2

##### 【解答例】

- (1) tell me how to make them
- (2) I'll have to ask her a few questions

- 語数制限（10語以内）を守らないものは0点。
- 全体の意味や形を大きく損なっているものは0点。
- 動詞の時制ミスなど文法上の誤りは－2点。
- スペルミスは1つにつき－1点。

### 第6問

#### 問1－4点

【問題文】 School is usually the first place, outside the family, in which kids learn to be responsible for themselves and to others.

【解答例】 たいていの場合、学校は、家庭以外で子供たちが自分に責任を持ち、また他人に対しても責任を持てるようになる最初の場所である。

- 次の各部に得点を配分する。

区分	配点	例
School is usually the first place, outside the family	2点	たいていの場合、学校は、家庭外で…最初の場所である
in which kids learn to be responsible for themselves and to others	2点	子供たちが自分に責任を持ち、また他人に対しても責任を持てるようになる

#### 問2－4点

【解答例】 子供が学校で何らかの問題を起こしたということ [子供が学業面で何らかの問題を抱えているということ]。

- 文脈に即した内容であれば表現は広く認める。
- 「子供が盗作をした」は下線部が暗示する一般的な内容ではなく個別の事例なので不可。
- 他の部分的に不適当な表現、過不足のある表現は程度に応じて減点。

### 問3－4点

【解答例】自分が過ちを認め、学校が科した罰を受け入れたということ [レポートには落第点がつき、2週間の居残り学習を命じられたこと]。

- 「自分が過ちを認めた」がなくても、「罰（または罰の内容）」について適切に述べていれば可とするが、前者のみなら－2点。
- 他の部分的に不適当な表現、過不足のある表現は程度に応じて減点。

### 問4－4点

【解答例】母親の意見に教師が同調し、自分が数的に劣勢に立たされたという事実。

- 解答例の前半、後半のいずれかの内容があればよい。「教師（たち）は母親の味方をした」、  
「数の上で形勢が不利になった」なども可とする。
- 他の部分的に不適当な表現、過不足のある表現は程度に応じて減点。

### 問5－4点

【問題文】 Having confidence in his own work will build his sense of self-reliance and hopefully decrease the chance of his plagiarizing again.

【解答例】 自分の勉強に自信を持つことが彼の自立心を確立し、うまくいけば再び彼が盗作をする可能性を減らすことにもなるだろう。

- 次の各部に得点を配分する。

区分	配点	具体事例
Having confidence in his own work	1点	自分の勉強に自信を持つことが
will build his sense of self-reliance	1点	彼の自立心を確立し
and hopefully decrease the chance of his plagiarizing again.	2点	うまくいけば再び彼が盗作をする可能性を減らすことにもなるだろう